

令和４年度 秋田県観光振興ビジョンに基づく具体的な取組について【重点施策】

資料 4

目標・目指す姿：訪れる人のところと地域を潤す持続可能な観光をめざして ～ 何度でも訪れたくなるあきたの創出 ～

施策体系	ビジョンに記載している主な取組の例		令和４年度の取組内容	R4実績（R4. 8. 1現在）	担当課
重点施策１ 自立した稼ぐ観光エリアの形成					
方向性（１） 客観的データの分析等に基づいた観光エリア経営による「稼ぐ力」の強化					
取組方針① 観光CRM(顧客関係管理)によるロイヤルカスタマーの創出	①データ分析に基づく顧客への戦略的な情報発信 ②旅アトのフォローによる持続的な関係構築 ③次回の来訪の促しやEC(電子商取引)サイトへの誘導	①データに基づく観光施策の実施を可能とする「秋田県観光データマネジメントプラットフォーム(秋田県観光DMP)」の構築に向け、旅行者データの収集・分析の実証、次年度以降の取組の整理を実施 ②③ロイヤルカスタマーに対して、きめ細かな観光情報を発信するためのCRM構築に向けた方向性を検討	①男鹿市で事前説明会の実施(7/4) ②③東北観光推進機構及び委託事業者と方向性の検討	観光振興課	
取組方針② デジタル技術の活用による観光関連事業者の経営改善	①宿泊・観光施設等におけるデジタル技術を活用した業務効率性の向上 ②新たなビジネス展開への取組支援や、事業拡大、多角化、課題解決等による経営基盤の強化 ③顧客満足度の向上に向けたPDCAサイクルによる業務改善の徹底	①デジタル技術を活用した経営改善システムの導入や高付加価値サービスの提供に向けた施設整備等への助成 ②県内4つの観光エリア(大館市、にかほ市、湯沢市、美郷町)において、デジタル技術を活用した課題解決を図る実証事業を実施 ③経営者向け生産性向上セミナーの実施(県北、県央、県南)	①助成金採択件数20件 ②4つのエリアでのヒアリングを開始(6月から) ③生産性向上セミナー(計3回)	観光戦略課 観光振興課	
取組方針③ サービスの高付加価値化等による観光消費額の拡大	①宿泊施設の魅力アップによる客単価の向上 ②地元食材を活用した地域ならではの食の提供や特産品を活用したお土産品の開発 ③ガイドを活用した体験プログラムの提供	①デジタル技術を活用した経営改善システムの導入や高付加価値サービスの提供に向けた施設整備等への助成【再掲】 ①②宿における県産食材を生かした食の磨き上げ、食や酒とタイアップした高単価の新プラン造成を支援 ③秋田ならではの自然や文化を活用した体験型コンテンツ等の商品化、販路確立の支援	①助成金採択件数20件【再掲】 ①②食の磨き上げによるお宿の魅力アップセミナーの開催(3回開催) ③8件のコンテンツの商品化支援を予定	観光戦略課 観光振興課	
方向性（２）多様な業種との連携によるブランド力の向上					
取組方針① 地域の特性に応じた推進体制の構築	①DMOや観光協会を核とした地域の特性に対応した推進体制づくり ②DMOや観光協会の活動を支える財源確保の検討 ③観光エリアのブランド力向上に向けた各種研修会等の開催	①誘客や受入態勢の強化に向けた県内DMO連絡会議の開催 ①DMO設立を目指す湯沢雄勝地域へのサポート ①DMOや観光協会等も構成員に含む秋田県農泊ネットワーク(仮称)を設立し、連携して誘客促進に向けた情報発信やコンテンツ作成研修会を実施 ②(今後に向けて検討) ③農山漁村での宿泊・食・体験を組み合わせた滞在型旅行を地域ぐるみで推進する農泊地域(以下「農泊地域」)でのファミツアーの実施	①会議開催予定(冬頃) ①湯沢市での会議等に出席(4/21ほか) ①農泊ネットワークについては、10月の設立に向け、市町村・DMO等関係団体への説明、意向を把握中 ②(なし) ③国交付金の交付決定の後、委託発注の予定(12月以降の予定)	県観光連盟 観光振興課 農山村振興課	
取組方針② 幅広い業種や地域住民が連携した観光地域づくり	①農林漁業や製造業との連携による新たな観光サービスの提供 ②飲食業と連携した泊食分離による多様な「食」メニューの提供 ③地元企業への発注などによる地域活性化への配慮 ④観光客との接点(タッチポイント)における地域住民の歓迎機運の醸成	①農山漁村で地域資源や「宿泊」・「食」・「体験」等の観光コンテンツを組み合わせたファミツアーの実施【再掲】 ②(今後に向けて検討) ③デジタル技術を活用した経営改善システムの導入や高付加価値サービスの提供に係る施設整備の補助金申請に当たり、県内発注を行う申請事業者に対し審査で加点 ④(今後に向けて検討)	①国交付金の交付決定の後、委託発注の予定(12月以降の予定)【再掲】 ②(なし) ③助成金採択件数20件【再掲】 ④(なし)	農山村振興課 観光戦略課 観光振興課	
方向性（３）観光エリアを支える人材の育成・確保					
取組方針① 観光人材の育成・採用、外部人材の活用	①観光地経営を牽引するリーダーの育成・採用 ②体験型観光の関係事業者や体験ガイド等の育成と待遇改善 ③観光を学ぶ大学生等の県内雇用につなげる産学接続の推進 ④農林水産系高校・大学、調理師養成教育機関での「持続可能な観光」を学ぶ機会の創出	①経営者向け生産性向上セミナーの実施(県北、県央、県南)【再掲】 ①新時代の観光事業経営などの知識・動向等を学ぶ、連盟会員の経営者向け講座の開催 ②県認定の「あきた白神認定ガイド」資格を更新するための講習等の実施(年3回) ③新卒者等を対象とした連盟会員企業の説明会、離職対策として若手従業員との情報交換会の開催 ④(今後に向けて検討)	①生産性向上セミナー(計3回)【再掲】 ①講座開催予定(冬頃) ②二ツ森において第1回目の講習を実施(5/29)(受講者8名) ③企業説明会開催(7/25)(企業8団体、学生10名) ④(なし)	観光戦略課 県観光連盟 自然保護課	
取組方針② シビックプライド(地域への誇りや愛着)を育む観光教育の推進	①自分たちが住む地域に誇りや愛着を抱く学習機会の創出 ②小中高生による観光ボランティアガイドの育成 ③県庁出前講座による観光教育の充実	①児童生徒の農業体験を受け入れる団体への支援 ①教育旅行等の新規参入者向け研修会の開催 ①世界遺産白神山地をフィールドとする環境教育の実施(小学4～6年生対象)(夏季・秋季プログラム) ②(今後に向けて検討) ③本県の観光の特色や状況等に係る県庁出前講座の実施 ③グリーン・ツーリズムをテーマとした出前講座の実施	①秋田市河辺の民間団体に対して児童生徒の農業体験受入を支援 ①国交付金の交付決定の後、委託発注の予定(12月以降の予定) ①白神体験塾(夏季プログラム)(7/24,7/31,8/7予定) ②(なし) ③南部市民サービスセンター 22名、外旭川小学校 84名(他3校、141名)(7月末時点) ③AIUからの依頼により出前講座を実施(6/27)	農山村振興課 観光振興課 自然保護課	

施策体系		ビジョンに記載している主な取組の例	令和４年度の実施内容	R4実績（R4. 8. 1現在）	担当課
方向性（１）デジタルマーケティング等によるニーズの的確な把握					
	取組方針① 官民連携による旅行者データ分析の仕組みづくり	①オープンデータ等を活用した観光デジタル情報プラットフォームの構築	①モデル地域の宿泊施設等における旅行者データの収集・分析の実証及びDMP構築に向けた次年度以降の取組の整理を実施【再掲】	①男鹿市で事前説明会の実施(7/4)【再掲】	観光振興課
	取組方針② デジタルマーケティングを活用した旅行者の動態やニーズの把握	①インターネットによる情報発信の最適化に向けたデジタルマーケティング等の新たな手法の活用 ②東北各県や東北観光推進機構との連携によるDMP(データ・マネジメント・プラットフォーム)を活用した分析と把握	①県公式観光サイト「アキタファン」へ誘導するWEB広告、SNS等によるデジタルプロモーションの実施及び調査分析 ②東北観光DMPを活用したデータ分析に基づく事業立案やプロモーション等を行うほか、県内の市町村やDMOを対象としたマーケティング研修会等の実施	①ランディングページ作成のため記事作成中（初回配信8月中旬～） ②研修会を実施予定(8/22、9/1)	観光振興課
方向性（２）ターゲットに応じた戦略的なプロモーション					
	取組方針① マーケティングに基づいたきめ細かな誘客対策の実施	①デジタル技術の活用によるターゲットの特性に対応した情報発信の充実 ②オンライン観光等による旅マエにおける訪問意欲の喚起 ③SNS、口コミサイトによるリピーターの獲得や新たな旅行需要の喚起 ④秋田県公式観光サイト「アキタファン」の充実及び発信強化	①県公式観光サイト「アキタファン」へ誘導するWEB広告、SNS等によるデジタルプロモーションの実施及び調査分析【再掲】 ①連盟会員がデジタルプロモーションを導入する際の経費への助成、活用に係る研修会の開催 ①③県が運用している各種SNSを活用し、秋田の旬の情報や魅力を発信 ①フォロワー数の多いインフルエンサーを活用した連盟会員情報の発信 ②オンライン観光の導入に向けた連盟会員向け研修会の開催 ④集客力の高いページや閲覧度の高いページを毎月分析し、さらに検索上位を狙えるよう説明文のリライトや訴求力の高い写真への差し替えを随時実施	①③【アキタファン】 ・R4年度PV数:8月末時点見込み:100万PV ・web広告は8月開始予定 ①③【SNS】 ・Facebookフォロワー数:55,856 ・Instagramフォロワー数:25,749 ・Twitterフォロワー数:25,250(8/1現在) ①デジプロ助成金採択2件(7/末現在) ①会員情報の発信企画を検討中 ②オンライン体験ワークショップ(計3回)	観光振興課 県観光連盟
	取組方針② 国内市場の特性や動向を踏まえた誘客プロモーションの展開	①JR東日本との連携による大型観光キャンペーンを活用した誘客促進 ②国内航空路線の乗継利用によるターゲット市場からの誘客促進 ③新規路線開設等に向けたLCCなどの航空会社への働きかけ ④フェリーと他の交通機関を組み合わせた旅行商品の造成支援 ⑤デジタル技術で拡張した「バーチャル秋田」による情報発信 ⑥交通事業者と連携したプレミアの推進	①北東北三県、JR東日本等と連携した大型観光キャンペーンの実施 ①隣県からのツアー客に対して連盟会員施設(宿泊除く)で使えるクーポンを提供(7～10月) ②小松空港・広島空港・宮崎空港圏域を対象とした、羽田空港乗継旅行商品の造成・販売と誘客プロモーションの実施 ③LCCや国際空港の運営会社との継続的な情報交換の実施 ④フェリーと県内航空路線、もしくは秋田新幹線を組み合わせた旅行商品造成に対する支援 ⑤秋田ならではの自然や文化を活用した体験型コンテンツ等の商品化、販路確立の支援【再掲】 ⑥(今後に向けて検討)	①北東北三県大型観光キャンペーン(7/1～開催) ①クーポン発行申請1843枚(7/末現在) ②旅行商品の販売開始(9月～10月催行) ③成田国際空港株式会社等との情報交換を実施 ④造成支援(申請)件数4件 ⑤8件のコンテンツのうち、2件(AR・VR活用)の商品化支援を予定【再掲】 ⑥(なし)	観光振興課 県観光連盟 交通政策課
	取組方針③ 北海道・東北各県等の連携による広域周遊観光の推進	①東北観光推進機構と連携した広域周遊ルートの構築と情報発信 ②世界遺産「白神山地」と「北海道・北東北の縄文遺跡群」を活用した北海道・北東北周遊ルートの形成 ③十和田・八幡平、白神山地、鳥海山、栗駒山等の県境観光地における隣県との連携 ④北東北三県と連携した冬季観光誘客プロモーションの展開	①主要な海外市場において、東北観光推進機構や各県との連携により旅行会社の招請や現地旅行博への出展等を実施し、広域周遊を促進 ①北東北三県合同事務所(名古屋、大阪、福岡)と連携し、旅行エージェントやマスコミを招請した旅行商品の造成促進やセールスを実施 ②首都圏での商談会によるPR、ファムツアー、映像制作等によるプロモーションを実施 ③(地域別プロジェクトで対応) ④関係自治体が共同で取り組むイルミネーションイベントに対する補助	①台湾(旅行会社招請10～11月、連携イベント12月) 香港(旅行会社招請8/22～26) 韓国(旅行会社招請8/22～26) タイ(旅行会社招請 秋頃) 欧米(旅行会社・メディア招請 9月～2月) ①北東北三県大阪事務所によるAGT招聘事業を実施(9月予定) ②10/7知床、11/9大阪、1/17東京での商談会に参加予定 ・ファムツアーは、9/5にコンペ、10月中にツアー実施予定 ・映像制作は、7/11、12にコンペを開催、委託先を決定(11月中に映像制作完了予定) ③(地域別プロジェクトで対応) ④十和田湖冬物語実行委員会に対し補助を予定	観光振興課
重点施策３ 時代の変化を捉えた秋田ならではのツーリズムの推進					
方向性（１）新しい旅行スタイルに対応した誘客の推進					
	取組方針① 秋田の特性を生かした滞在型・体験型観光の推進	①サイクリングやトレッキング、SUPなど、大自然を活用したアウトドア観光の推進 ②湯治文化を生かした長期滞在型観光の推進 ③農家民宿・農家レストランなどによる農山漁村の生活・文化・食を生かしたグリーン・ツーリズムの推進 ④心と身体を癒やすウェルビーイングツーリズムの推進 ⑤鉱山、自然エネルギー等、本県の特徴を生かしたMICE(マイス)の誘致 ⑥秋田犬を活用した誘客コンテンツの充実 ⑦花火や星空体験、ライトアップされた観光地など、ナイトタイムツーリズムの推進 ⑧伝統的工芸品の製作体験や工房見学など、本県のものづくり文化を生かした誘客コンテンツの充実 ⑨冬の伝統行事体験や酒蔵見学など、地域文化資源を活用した冬季観光の推進 ⑩スノーアクティビティを活用した体験型観光の推進 ⑪樹氷見学やローカル鉄道など、冬の秋田の風景を活用した冬季観光の推進	①②④⑩⑪秋田ならではの自然や文化を活用した体験型コンテンツ等の商品化、販路確立の支援【再掲】 ①登山情報誌「山と溪谷」とタイアップした世界遺産白神山地の価値や魅力の効果的な発信 ①真木真昼エリアでのアクティビティの魅力を体験してもらうイベントの開催 ①真木真昼エリアでのアウトドア・アクティビティのPR及び集客のため、首都圏在住ガイド等向けのモニターツアーの実施 ①トレイルランニング大会の支援として、登山道の刈払いを実施 ③農家民宿や農家レストランのPR、大学生や企業を対象に農山村での各種体験と組み合わせた農家民宿の利用促進事業を実施 ③農家民宿・農家レストランの起業希望者を対象に実践研修を開催 ⑤(今後に向けて検討) ⑥エリアなかいちでの「秋田犬」展示や、秋田犬ふれあい情報センターにおける県内の秋田犬展示施設の情報発信を実施 ⑧(今後に向けて検討) ⑦⑨ナイトタイムコンテンツを活用した企画等の実施	①②④⑩⑪8件のコンテンツの商品化支援を予定【再掲】 ※このほか、連盟会員のコンテンツ造成等に対し助成採択6件(7月末現在) ①エコツアーモデルコースの情報発信及びオンライントークイベント(7/16～18) ①アクティビティイベントを開催予定(10/22～23) ①モニターツアーの実施(6/15～17)(参加10名) ①トレイルランニング大会開催予定(8/21～22)、大会開催前に刈払い実施予定 ③大学生向けは4地域の想定中、3地域で実施中であり、予算の範囲内で追加募集中、企業向けは委託先を公募中(11月以降の実施予定) ③委託発注済み、10～11月に実施予定 ⑤(なし) ⑥秋田犬ステーション(展示28日) 秋田犬サテライトステーション等(臨時展示10日) ⑦⑨秋から冬頃実施予定 ⑧(なし)	観光振興課 県観光連盟 自然保護課 農山村振興課 文化振興課

施策体系			ビジョンに記載している主な取組の例	令和４年度取組内容	R4実績（R4. 8. 1現在）	担当課
		取組方針② 個人の趣味や嗜好を踏まえた観光コンテンツの充実	①世界遺産、ダム・橋等のインフラや城址など、個人の趣味や嗜好に対応した観光資源の利活用の推進 ②映画・ドラマのロケ地巡りやアニメの聖地巡礼等のロケツーリズムの推進 ③五能線、秋田内陸線、鳥海山ろく線等、地域鉄道の魅力を生かした誘客の促進	①世界遺産を活用した誘客に係る首都圏での商談会によるPR、ファムツアー、映像制作等によるプロモーションの実施【再掲】 ①気球に乗り世界遺産を上空から楽しむ「世界遺産魅力アップ事業」の実施 ②秋田ゆかりのアニメ・マンガのキャラクターを活用した各種事業の実施 ②県外メディア制作サイドへの積極的な売り込み、関係構築 ②ロケ支援ネットワークの連携強化(ジャパン・フィルムコミッション認定研修へ出席) ③JR東日本秋田支社、沿線市町村等により組織される五能線沿線連絡協議会へ参加 ③第三セクター鉄道が実施する貸切列車の割引利用への助成 ③第三セクター鉄道が実施するフリー切符購入者に提供するリピーターチケットの無償提供への助成 ③由利高原鉄道が所有する観光イベント列車(2両)のリニューアル整備への助成	①10/7知床、11/9大阪、1/17東京での商談会に参加予定 ・ファムツアーは、9/5にコンペ、10月中旬にツアー実施予定 ・映像制作は、7/11、12にコンペを開催、委託先を決定(11月中旬に映像制作完了予定)【再掲】 ①「世界遺産魅力アップ事業」気球で楽しむ世界遺産の実施 ・伊勢堂岱遺跡(7/24、14組37名搭乗) ・7/31(日)大湯環状列石(7/31、16組50名搭乗) (10月に2回目を実施予定) ②埼玉県、熊本県とクレヨンしんちゃん家族都市協定を締結(7/20) ②全国放送の番組へマスコットキャラクターと職員派遣を実施、あきたロケ支援ネットワーク会員によるロケ支援実施 ②各種ロケ地募集情報をあきたロケ支援ネットワーク会員へ提供、7/4～5ジャパン・フィルムコミッション認定研修を受講 ③SNSによる情報発信、パンフレットの作成(五能線沿線連絡協議会) ③割引助成開始(4月から) ③チケット提供の助成開始(4月から) ③10月及びR5.2月に整備完了予定	観光振興課 文化財保護課 交通政策課
		取組方針③ 地域との継続的な関わり合いによる秋田ファンの創出	①旅行者と地域住民の様々な交流をきっかけとした“地域のファン”の創出 ②地域の暮らしに触れる体験型観光の推進 ③ECサイトやライブコマースを活用した県産品の購入促進による継続的な関わりの構築 ④ワーケーションなど、地域との多様な関わり方を可能とする滞在環境の整備 ⑤SNS等を活用した地域情報の発信による継続的な秋田との繋がり	①市町村等との協働による地域課題解決型のワーケーションコンテンツの発掘・磨き上げ(10コンテンツ程度) ②「地域課題を通じた地域の人との交流」が得られるワーケーションモデルツアーの実施(3回) ③(今後に向けて検討) ④連盟会員施設でのワーケーション導入に向けた新たな取組に対する助成 ④農泊推進協議会を対象にワーケーション受入のため実務及びSNSを活用した情報発信研修会を開催 ④本県でワーケーションを行う企業や団体への支援(10万円・30件) ④企業等のワーケーションを誘致した旅行事業者への支援(30万円・10件) ④ワーケーションガイドブック等を活用した首都圏企業等へのアプローチ ⑤県が運用している各種SNSを活用し、秋田の旬の情報や魅力を発信【再掲】 ⑤インフルエンサーマーケティング、動画制作及びプロモーションによるワーケーションの認知度拡大	①地域のキーパーソンや市町村等との打ち合わせを実施中 ②第1回モデルツアーを県央で実施予定(9/1～4) ③(なし) ④ワーケーション導入支援事業補助金一次募集(6/1～6/30)を実施し、1件採択(7月末現在) ④国交付金の交付決定の後、委託発注の予定(12月以降の予定) ④ワーケーション実践団体奨励金4件決定 ④旅行事業者を募集中(4月から) ④4月以降、首都圏の企業訪問を実施中、ガイドブック・ガイドマップは8月に増刷納品予定 ⑤(2)-(2)-①アキタファン・SNS件数等)【再掲】 ⑤第1回モデルツアーに参加するインフルエンサーと打ち合わせを実施する予定(8/5)	移住・定住促進課 観光振興課 県観光連盟 農山村振興課
方向性（２）SDGsの視点に対応した持続可能な観光の推進						
		取組方針① 地域の社会経済や自然環境等に配慮したサステナブルツーリズムの推進	①自然環境の保全や文化の継承に貢献する参加型プログラムの開発 ②SDGsの視点を踏まえた修学旅行プログラムの充実	①秋田ならではの自然や文化を活用した体験型コンテンツ等の商品化、販路確立の支援【再掲】 ②教育旅行に係る新たなコンテンツ造成等への助成 ②教育旅行誘致に係る説明会の開催、セールス活動の実施 ②SDGsをキーワードとした農泊地域での教育旅行のPRを実施	①8件のコンテンツの商品化支援を予定【再掲】 ②今後実施予定 ②誘致キャラバンの開催(7/12～14札幌)、誘致説明会の開催(8/31札幌) ②国交付金の交付決定の後、委託発注の予定(12月以降の予定)	観光振興課 県観光連盟 農山村振興課
		取組方針② 観光エリアの持続可能性を高める取組の推進	①伝統行事・芸能の継承や保存など、地域の文化を守る取組の推進 ②食品ロスへの対応や地産地消など、食の循環を考慮した取組の推進 ③再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素の削減や節電・省エネなど、自然環境を保全する取組の推進	①伝統行事の体験型プログラムを活用したワークショップの開催と実演披露・成果発表会の実施 ①伝統芸能(秋田民謡)を次世代に継承することを目的とした若手主体の公演の実施 ①秋田を代表する伝統芸能や伝統行事が一堂に会した祭典の実施 ②(今後に向けて検討) ③県内観光事業者が行う省エネルギー化の取組に対する助成	①ワークショップ県内3地区(12月まで実施予定)、実演披露・成果発表会会(R5.2月実施予定) ①あきた民謡祭2022の開催(6/18) ①新・秋田の行事in男鹿2022の開催(10/22～23予定) ②(なし) ③燃料高騰等対策補助金(申請)件数37件追加募集中	文化振興課 観光戦略課
		取組方針③ 県民を中心としたマイクロツーリズムの推進	①県民が県内観光地や宿泊施設を利用することにより、地域経済に貢献するツーリズムの推進 ②地域の魅力の再認識を通じた、地域を支える気運の醸成	①あきた県民割キャンペーンなどの実施による県民の県内流動の促進 ①大学生や企業を対象に農山村での各種体験と組み合わせた農家民宿の利用促進事業を実施【再掲】 ②(今後に向けて検討)	①296,374人泊の利用(8/8付け速報値) ①大学生向けは4地域の想定中、3地域で実施中であり、予算の範囲内で追加募集中、企業向けは委託先を公募中(11月以降実施予定)【再掲】 ②(なし)	観光振興課 農山村振興課
方向性（３）多様な分野との連携・融合による交流人口の拡大						
		取組方針① 地域に根ざした豊かな食文化を生かした誘客の推進	①地域の食文化を生かしたローカルガストロノミーの推進 ②県内外のシェフ等の「食」を担う人材の育成及び誘致 ③本県の魅力ある発酵食文化の情報発信強化と見学や体験等ができる発酵ツーリズムの拠点となる施設の充実 ④アンテナショップ、県産品ネット販売の活用など、旅アト需要と再訪意欲の喚起	①宿における県産食材を生かした食の磨き上げ、食や酒とタイアップした高単価の新ブランド造成を支援【再掲】 ②(今後に向けて検討) ③地域をあげて発酵の郷づくりに取り組む団体等が行う誘客に向けたプロモーション活動への助成 ③あきた発酵ツーリズムガイドブックの情報更新やSNSを活用した最新情報の発信 ④アンテナショップを活用した特産品販売や季節に応じた各種イベントの開催による魅力発信	①食の磨き上げによるお宿の魅力アップセミナーの開催(3回開催)【再掲】 ②(なし) ③補助金採択件数2件 ③ガイドブック更新予定(11月以降) ④毎月定例イベントを実施	観光振興課 食のあきた推進課

施策体系			ビジョンに記載している主な取組の例	令和４年度の実施内容	R4実績（R4. 8. 1現在）	担当課
		取組方針② 伝統芸能・行事等をはじめとする文化資源の活用による誘客の推進	①県内外の若者等を対象とした伝統行事等の体験型プログラムの実施 ②あきた芸術劇場「ミルハス」を拠点とした本県文化の発信 ③伝統的工芸品の製作体験や工房見学など、本県のものづくり文化を生かした誘客コンテンツの充実(再掲) ④冬の伝統行事体験など、地域の文化資源を活用した冬季観光の推進(再掲)	①伝統行事の体験型プログラムを活用したワークショップの開催と実演披露・成果発表会の実施【再掲】 ①大学生や企業を対象に農山村での各種体験と組み合わせた農家民宿の利用促進事業を実施【再掲】 ②あきた芸術劇場ミルハスの開館を契機とした多彩な文化芸術公演の実施や文化・観光情報の発信 ③(今後に向けて検討) ④ナイトタイムコンテンツを活用した企画等の実施【再掲】	①ワークショップ県内3地区(12月まで実施予定)、実演披露・成果発表会(R5.2月実施予定)【再掲】 ①大学生向けは4地域の想定中、3地域で実施中であり、予算の範囲内で追加募集中、企業向けは委託先を公募中(11月以降実施予定)【再掲】 ②開館記念式典(6/5)、グランドオープン記念特別公演(9/23予定)、館内に観光パンフレット設置、ミルハス公式ウェブサイトと観光情報サイト「アキタファン」との相互リンク ③(なし) ④今後実施予定【再掲】	文化振興課 農山村振興課 観光振興課
		取組方針③ スポーツツーリズムの推進による地域経済の活性化	①地域資源を活用したスポーツ大会等の開催支援や国内外からのスポーツ合宿誘致など、スポーツを活用した交流の拡大 ②プロスポーツにおけるアウェイツーリズムの推進 ③プロスポーツ試合会場での物販や秋田の祭りの紹介による、本県の魅力の発信	①県が補助する地域の活性化を図る目的で開催されるスポーツ大会等において、本県の観光や物販のPR・販売等を実施 ①県外のスポーツ団体が県内のスポーツ団体と交流を図る県内合宿や大会に対して補助 ②プロスポーツチームと連携し、観光や飲食店のPRを、秋田県公式観光サイト(アキタファン)に掲載 ①③県外事務所とプロスポーツチームが連携し、物販及び観光PRブースを出展	①100*。チャレンジマラソンほか、採択件数3件 ①補助金(申請)件数5件 ②秋以降実施予定 ①③ブラウブリッツ秋田のアウェー戦で物産展及び観光PRを実施(5/15ジェフ千葉戦、7/6横浜FC戦)	スポーツ振興課

重点施策４ 旅行者の多様なニーズに応じた受入態勢の整備

方向性（１）快適に秋田を満喫できる滞在環境の整備

取組方針① 旅行者の安全・安心な旅を支える受入態勢の整備	①観光案内所・宿泊施設等におけるコンシェルジュ機能の強化や観光事業者による「おもてなし」の充実 ②キャッシュレス等の非接触型機器の活用やWi-Fi環境整備の推進 ③三密防止、従業員の健康管理等の新型コロナウイルス感染症対策の徹底 ④旅行者との接点(タッチポイント)におけるデジタル化の促進 ⑤災害発生時における旅行者の避難などの安全対策の実施	①連盟会員企業のスタッフのレベルアップにつながる研修会等の開催 ②デジタル技術を活用した経営改善システムの導入や高付加価値サービスの提供に向けた施設整備等への助成【再掲】 ②大学生の農家民宿の利用を促進するためWi-Fi環境整備を進める農泊地域を支援 ③新型コロナウイルス感染防止対策に係る取組に対する補助を実施(令和3年度) ③新型コロナウイルスの感染防止対策として、自然公園内の公衆トイレ(9箇所)等の改修を実施 ④(今後に向けて検討) ⑤(今後に向けて検討)	①ホスピタリティ研修開催(6月、3カ所) ②助成金採択件数20件【再掲】 ②大学生向けは4地域の想定中、3地域で実施中であり、予算の範囲内で追加募集中 ③物品購入等159件、施設改修等59件(令和3年度実績) ③公衆トイレ改修等に係る発注済 ④(なし) ⑤(なし)	県観光連盟 観光戦略課 観光振興課 自然保護課 農山村振興課
取組方針② 宿泊・観光施設における魅力向上への取組とバリアフリーの推進	①少人数・家族向け居室の改修等、旅行者のニーズに対応した宿泊施設における滞在環境の整備 ②高齢者や障害者など、全ての旅行者を歓迎するためのパーソナルバリアフリーの推進	①デジタル技術を活用した経営改善システムの導入や高付加価値サービスの提供に向けた施設整備等への助成【再掲】 ②バリアフリー状況の調査、観光コンシェルジュ(バリアフリー担当)の配置 ②高齢者や外国人を含む、全ての観光客を対象とした相談等を行う「あきた旅のサポートセンター」、「秋田バリアフリーツアーセンター」の運営	①助成金申請件数20件【再掲】 ②バリアフリー調査3件(7/末現在) ②宿泊モニター実施(4組7名) ②バリアフリー対応研修実施予定(秋頃) ②問合せ321件(7月末現在)	観光戦略課 観光振興課 県観光連盟

方向性（２）旅行者がストレスなく移動できる環境の構築

取組方針① 二次アクセスの整備による旅行者の利便性の向上	①乗合タクシー、シャトルバス、レンタカー、レンタサイクル等を活用した利便性の向上 ②AIオンデマンド乗合タクシーやMaaS(マース)など、新たなモビリティサービスの導入に向けた支援 ③バスロケーションシステム等のデジタル技術の活用による移動環境の整備 ④乗合バスへのICカード導入による地域公共交通の利便性向上	①エアポートライナー路線におけるAIスマートシャトル技術の実証 ②市町村や交通事業者等が行うデジタル技術の活用による利便性向上の取組等への助成 ③バスロケーションシステムを導入する乗合バス事業者への助成 ④交通系ICカードによるキャッシュレス化を図る乗合バス事業者への助成	①10月以降に実証開始予定 ②事業者を募集中(～7/22) ③導入予定(秋北バス)(R5.3月) ④導入予定(秋北バス)(R5.3月)	交通政策課
取組方針② デジタル技術等を活用した旅ナカにおける観光情報の充実	①QRコードの活用やスマートフォンへのプッシュ配信等による観光情報の発信 ②Googleマップへの観光情報等の登録充実	①ロイヤルカスタマーに対して、きめ細かな観光情報を発信するためのCRM構築に向けた方向性の検討【再掲】 ②県内の観光関連事業者(市町村、DMO、民間事業者等)向けにGoogleマップの活用方法等に係る実務的なセミナーを開催	①東北観光推進機構及び委託事業者との方向性の検討【再掲】 ②セミナーを開催予定(9月～11月)	観光振興課

重点施策５ 戦略的なインバウンド誘客の推進

方向性（１）ターゲットを的確に捉えた誘客の推進

取組方針① アフターコロナを見据えた対象市場の見直しとプロモーションの強化	①渡航再開状況や国際情勢など、市場の動向を的確に捉えた誘客の推進 ②デジタル技術の活用によるターゲットの特性に対応した情報発信の充実(再掲) ③インバウンドに対応したランドオペレーター機能の充実 ④デジタル技術で拡張した「バーチャル秋田」による情報発信(再掲) ⑤ALT(外国語指導助手)・技能実習生・留学生などが在留外国人を対象としたモニターツアーの実施 ⑥世界に向けた秋田の「NOUHAKU(農泊)」の誘客促進 ⑦北東北と連携した冬季観光誘客プロモーションの展開(再掲)	①各市場の渡航再開状況等を踏まえた、各種誘客施策の推進 ①ターゲット分析のためのデータ収集・分析体制の構築に向け、宿泊施設におけるデータ収集の実証及び次年度以降の方向性の整理を実施 ②SNS等を活用したFIT向けの情報発信の実施 ③台湾からの少人数ツアーの誘客促進に向け、ランドオペレーターと現地旅行会社とのマッチングを実施 ④秋田ならではの自然や文化を活用した体験型コンテンツ等の商品化、販路確立の支援【再掲】 ⑤県内大学の留学生向けモニターツアーの実施 ⑥大学生(留学生を含む)の農泊を受け入れるため、事業者が行う施設整備等への助成 ⑦東北観光推進機構や各県との連携による国内在住の海外メディア招請等の実施	①現地コーディネーターを通じた継続的な情報収集やセールスの推進 ①仏トップセールス実施に向けた現地視察(6/4～11) ②Facebook、Instagram、Weibo、Wechat等を活用し、継続的に情報発信 ③ランドオペレーター4社を選出し、県内の少人数ツアー向けコンテンツを視察(7/27以降順次実施) ④8件のコンテンツのうち、2件(AR・VR活用)の商品化支援を予定【再掲】 ⑤ツアー実施予定(冬頃) ⑥大学生向けは4地域の想定中、3地域で実施中であり、予算の範囲内で追加募集中 ⑦冬季に中国現地旅行会社・メディア招請を実施予定	観光振興課 県観光連盟 農山村振興課
---------------------------------------	---	--	---	--------------------------

施策体系			ビジョンに記載している主な取組の例	令和４年度の実組内容	R4実績（R4. 8. 1現在）	担当課
		取組方針② インバウンド誘客における新たなゲートウェイ戦略の推進	①対象市場の特性を踏まえた国際チャーター便の誘致強化 ②羽田空港や新千歳空港等からの秋田空港への乗継利用の促進 ③成田空港等の国際空港と秋田空港・大館能代空港を結ぶLCCの誘致等による新規路線の開設 ④仙台、青森空港など国際定期便を有する近隣空港を活用した誘客促進	①台湾において、チャーター便の運航再開に向け、現地旅行会社や航空会社へのセールス等を継続的に実施 ②国内空港の海外路線再開状況を踏まえながら、県外空港を経由する本県への旅行商品の造成促進に向けた支援 ③LCCや国際空港の運営会社との継続的な情報交換の実施 ④(今後に向けて検討)	①現地コーディネーターを通じ毎月セールスを実施 ②検討中 ③成田国際空港株式会社等との情報交換を実施 ④(なし)	観光振興課 交通政策課
		取組方針③ クルーズ船の誘致活動の推進	①海外船社や旅行会社を対象としたファムツアー等の実施による誘客促進 ②環日本海クルーズ推進協議会等の広域連携組織と連携した海外船社幹部の招へいなどによる誘致活動の推進	①海外船社や旅行会社を対象としたファムツアーを実施、ランドオペレーター等旅行会社等との商談会を実施 ②寄港地決定権を有する海外クルーズ船社の幹部等の招聘 ②環日本海クルーズ推進協議会等の広域連携組織と連携した海外船社幹部の招聘	①商談会実施予定(10月) ②年度内実施に向け準備中(山形、新潟県と連携) ②検討中	観光振興課 港湾空港課
	方向性（２）インバウンド回復を見据えた受入態勢の整備促進					
		取組方針① 異文化理解に基づいた受入態勢の充実	①最新技術による多言語翻訳機能等の利活用の促進 ②外国人旅行者に対応した多言語表記の充実・観光案内所など観光施設におけるインバウンド対応力のレベルアップ支援 ③キャッシュレスなどの非接触型機器の活用やWi-Fi環境整備の推進(再掲) ④災害発生時における外国人旅行者の避難などの安全対策の促進	①②新たな旅行スタイルに対応した受入態勢の強化に向けたセミナーや観光案内所等のスキルアップ研修を開催 ②観光コンシェルジュ(インバウンド担当)の配置 ②館内案内等を多言語翻訳するサービスを提供 ③デジタル技術を活用した経営改善システムの導入や高付加価値サービスの提供に向けた施設整備等への助成【再掲】 ④(今後に向けて検討)	①セミナーにおいてICT活用の事例を紹介 ②多文化共生・外国人向け情報を活用し、観光施設等へ周知 ②問合せ18件(7月末現在) ②多言語翻訳8件(7月末現在) ③助成金採択件数20件【再掲】 ④(なし)	観光振興課 県観光連盟 観光戦略課
		取組方針② 多様な食文化への対応の促進	①ベジタリアン、ヴィーガン等に対応した食事メニューの提供 ②飲食業と連携した泊食分離による多様な「食」メニューの提供(再掲) ③地域の食文化を生かしたローカルガストロノミーの推進(再掲)	①新たな旅行スタイルに対応した受入態勢の強化に向けたセミナーや観光案内所等のスキルアップ研修を開催【再掲】 ②(今後に向けて検討) ③宿における県産食材を生かした食の磨き上げ、食や酒とタイアップした高単価の新ブラン造成を支援【再掲】	①今後セミナーを実施 ②(なし) ③食の磨き上げによるお宿の魅力アップセミナー の開催(3回開催)【再掲】	観光振興課